

県内外からの応援メッセージ

できるときに、できる人が、楽しみながらやっていただきたい

千葉県習志野市秋津コミュニティ 顧問 岸 裕司

先生方は様々な対応に追われ、とても忙しいので、ぜひ保護者や地域の皆さんが学校応援団になっていただきたい。その中継ぎをする人がコーディネーターですね。地域にあるサークルや様々な方々に声をかけをし、より一層学習を充実させていっていただきたいと思います。こうした活動を通して、子どもの笑顔が増え、かかわる大人たちも、みんな笑顔になれるんです。山口県の各地域で、「地域協育ネット」をしっかりと進めていくことは、学校づくり、まち育て、次世代育成にもつながります。ぜひ、できるときに、できる人が、楽しみながらやっていただきたいと思います。



「地域協育ネット」を通じた新しい出会いと学びを

NPO法人まちと学校のみらい 代表理事 竹原 和泉

子どものみらいのために、社会総がかりで、学校・家庭・地域や企業、行政が、それぞれの強みを生かし、良きパートナーとなれるよう、各地でコミュニティ・スクールや学校支援地域本部など仕組みづくりが進んでいます。このような「地域とともにある学校づくり」を進めるプロセスで、コーディネーターの役割は大きく、私たち大人にも新しい出会いと学びがあります。「地域協育ネット」で深い思いとエネルギーに満ちたすてきな方々と出会うことができたことに感謝し、これからもご一緒に歩んでいけたらと思っています。



「地域協育ネット」の実りを全国に

京都市教育委員会学校指導課 首席指導主事 西 孝一郎

山口県の研修会の熱気は、全国に誇るべきものです。いつ行っても、皆様の前向きな姿に驚き、学ばせていただいています。これは、山口県の土壌となっているのでしょうか。この山口県の土壌に、「地域協育ネット」は葉をしげらせ、大きな花をつけてきました。今では「地域協育ネット」の豊かな実りも見られるようになりました。小・中学校の連携など、研修会でもふれたとおりです。これからは、その実りを全国に広げていっていただきたいと思います。私も、山口県の取組や雰囲気、様々などところでお話していきます。



「地域協育ネット」を通じたコミュニティづくりを

山口県社会教育委員連絡協議会 会長 相原 次男

山口県社会教育委員の会議では、「地域の^{きずな}人づくり・絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて」をテーマに2か年をかけて協議し、この度、提言書としてまとめたところです。提言書では、「地域協育ネット」における取組は、子どもを介して様々な人々の協働を生み出すものであり、子どもの育ちを支える仕組みとしてだけでなく、大人の学びや住民同士のつながり、活力あるコミュニティを促す仕組みとしても有効であることを述べています。様々な可能性をもつ「地域協育ネット」が今後ますます充実していくよう願っております。



これからの時代に求められる学校像と「地域協育ネット」に期待するもの

山口大学教育学部 教授 霜川 正幸

私はこれからの時代に求められる学校像を5項目に整理しています。①子どもに上質の教育を保障できる学校、②子どもや教職員が安全安心に生活できる学校、③教職員の職能成長を実現できる学校、④保護者や住民の信頼や期待に応え共に成長できる学校、⑤地域コミュニティの拠点として歩むことができる学校です。そのためには、コミュニティ・スクール、学校評価、小中連携、組織マネジメントや地域連携等の拡大や充実深化が必要です。私が「地域協育ネット」に期待する理由は、それらの可能性を信じているからです。

